

決算特別委員会

- ◎ 開催日時 平成 30 年 10 月 25 日（木） 10 時 00 分～16 時 42 分
- ◎ 開催場所 議員室
- ◎ 説明員 青木教育長、浅見県民生活部長、川崎健康医療福祉部長、
宮川病院事業庁長および関係職員

◎ 議事の概要

1 議第116号、議第118号、報第8号、報第11号および報第12号について

【教育委員会所管分】

委員からは、学びに向かう力推進事業について、幼児教育は学んでいく力を育む上で、大切な視点であることから、就学前児童が学ぶ力の基礎である意欲、関心を養うことができるように努められたい、教職員の資質の向上、子供たちの学力向上あるいは学校環境について、さまざまな課題が上げられているが、解決するためには、教員の産育休などに対応した講師の確保を行うなどの組織マネジメントを構築することが必要ではないか、などの意見が出された。

【県民生活部所管分】

「琵琶湖ホール音楽会へ出かけよう！」ホールの子事業について、学校のバス利用にかかる実績額の8割を補助したとのことであるが、遠方の学校ほど負担が大きくなることから、それに見合った補助を行うべきである、国民スポーツ大会等の開催準備について、現状の取り組みでは、基本計画に示された目標達成は容易ではない、また国体に向けた県民の意識高揚に欠けるため、今後、さらなる競技力向上対策の励行と機運の醸成に努められたい、犯罪被害者等支援施策について、犯罪被害者総合窓口および SATOCO の認知度が低いことは非常に残念であり、今後、しっかりと県民等への広報に取り組んでほしい、などの意見が出された。

【健康医療福祉部および病院事業庁所管分】

委員からは、子育て支援環境緊急整備事業等について、待機児童の解消は、保育園の整備だけでなく保育士の確保とセットの問題であり、安心して預けられる保育園を望む保護者の声は本当に切実なので、対策を講じられたい、放課後児童クラブ施設整備費における今後の課題への対応について、保護者の子育てと仕事の両立が可能となる環境づくりを進めていくとのことだが、それに合わせて、子供たちの生活の場としての質の向上を図ることも大切であるので意識されたい、などの意見が出された。



委員会で配付された資料

- 1 決算特別委員会部局別資料（平成 29 年度歳入歳出決算）教育委員会
- 2 平成 29 年度随意契約の結果（500 万円以上の工事、物品、委託）、平成 29 年度長期継続契約締結結果（7 千万円以上）教育委員会
- 3 決算特別委員会部局別資料（平成 29 年度歳入歳出決算）県民生活部
- 4 平成 29 年度随意契約の結果（500 万円以上の工事、物品、委託）、平成 29 年度長期継続契約締結結果（7 千万円以上）県民生活部
- 5 決算特別委員会部局別資料（平成 29 年度歳入歳出決算）健康医療福祉部
- 6 平成 29 年度随意契約の結果（500 万円以上の工事、物品、委託）健康医療福祉部
- 7 決算特別委員会部局別資料（平成 29 年度歳入歳出決算）病院事業庁
- 8 平成 29 年度随意契約の結果（500 万円以上の工事、物品、委託）、平成 29 年度長期継続契約締結結果（7 千万円以上）病院事業庁